

週間市場レポート (2021年11月22日~11月26日)

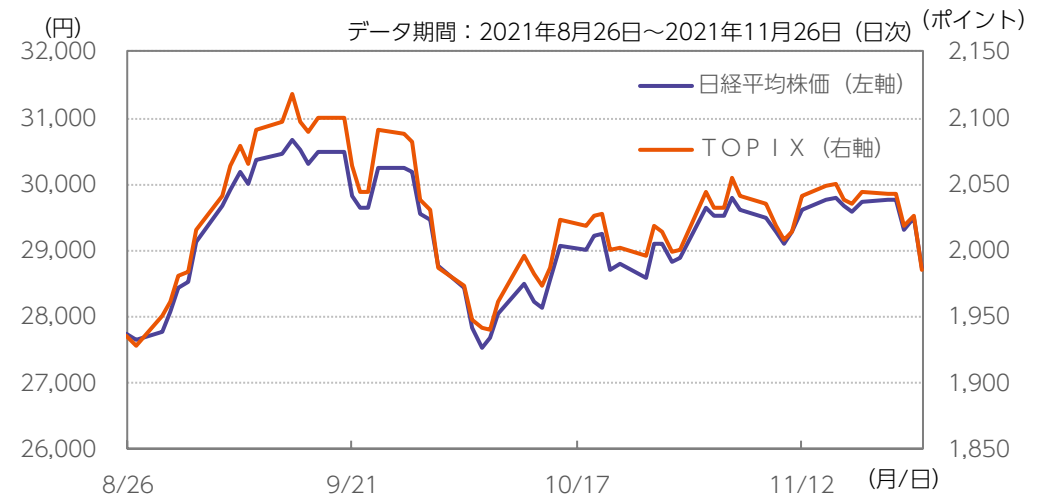
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/11/19	先週末 2021/11/26	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,745.87	28,751.62	▲ 3.34 ↓
TOPIX (東証株価指数)		2,044.53	1,984.98	▲ 2.91 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		35,601.98	34,899.34	▲ 1.97 ↓
S & P500種指数		4,697.96	4,594.62	▲ 2.20 ↓
ナスダック総合指数		16,057.44	15,491.66	▲ 3.52 ↓
ユーロ・ストックス50指数		4,356.47	4,089.58	▲ 6.13 ↓
S & P/ASX300指数		7,413.45	7,291.50	▲ 1.64 ↓
上海総合指数		3,560.37	3,564.09	0.10 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		999.29	970.51	▲ 2.88 ↓
東証REIT指数		2,058.37	2,069.18	0.53 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		919.52	907.96	▲ 1.26 ↓
ASX300 REIT 指数		1,689.20	1,702.80	0.81 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		218.68	215.72	▲ 1.35 ↓
日本10年国債 (%)		0.080	0.074	▲ 0.006 ↓
米国10年国債 (%)		1.546	1.473	▲ 0.073 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.342	▲ 0.335	0.007 ↑
英国10年国債 (%)		0.879	0.825	▲ 0.054 ↓
ドル/円		113.99	113.38	▲ 0.54 ↓
ユーロ/円		128.71	128.35	▲ 0.28 ↓
英ポンド/円		153.34	151.23	▲ 1.37 ↓
豪ドル/円		82.49	80.76	▲ 2.10 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,912.02	3,757.13	▲ 3.96 ↓
WTI原油先物 (ドル)		76.10	68.15	▲ 10.45 ↓
CRB指数		235.02	226.73	▲ 3.53 ↓

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の再任により金融政策の先行きの不確実性が低下し、米金融政策が早期に正常化に向かうとの見方から米長期金利が上昇し、割高感が意識されやすいハイテク株やグロース株などを中心に幅広い銘柄が売られ、祝日明けの24日（水）は大幅下落となりました。その後は、大幅下落後の自律反発狙いの買いが優勢となったことや、米金利上昇の一服によりハイテク株が買い戻され上昇しました。週末は、南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異種により感染が拡大していると伝わると、海外を中心に再び経済活動の制限が強まるとの懸念から前日比で2%を超える大幅下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

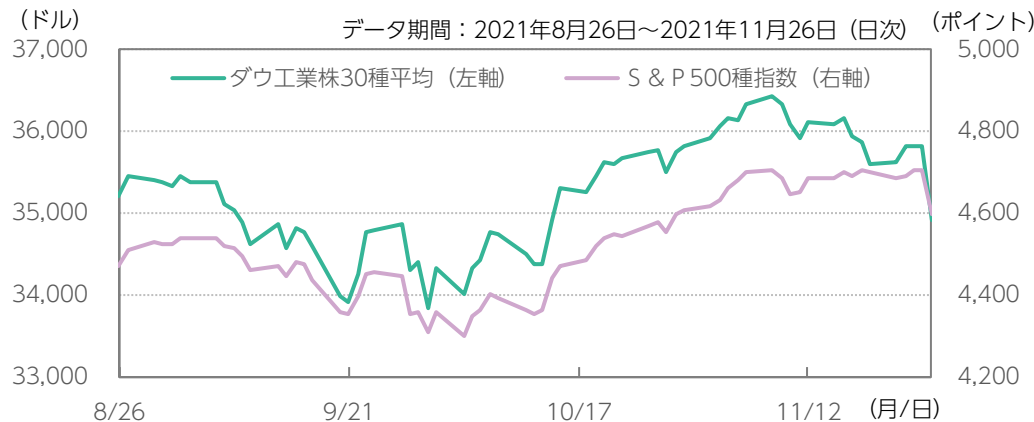
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。パウエルFRB議長の再任により、米金融政策の正常化が進むとの観測から米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇しました（価格は下落）。週末は、新型コロナウイルスの変異種による感染拡大懸念から、相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となり（利回りは低下）、週間では前週末比で横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

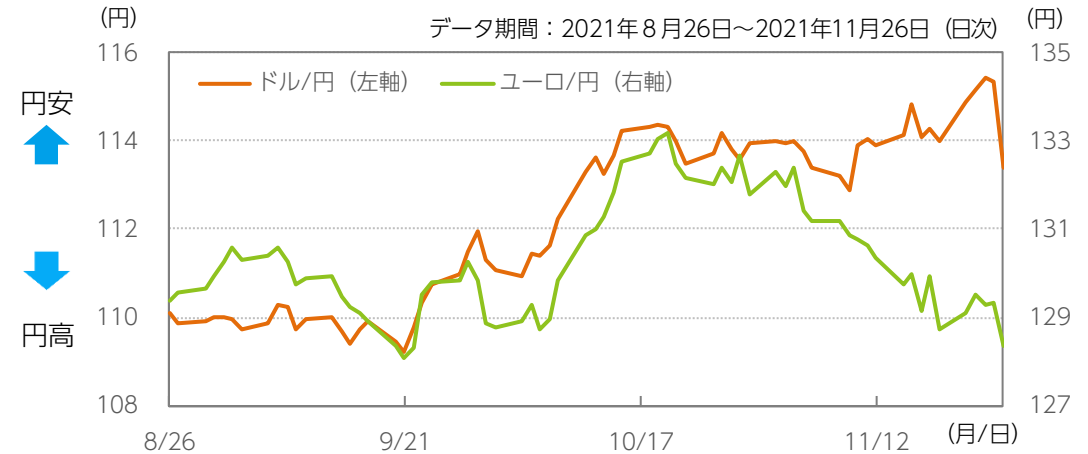
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。バイデン米大統領がパウエルFRB議長の再任を決定すると、金融政策の先行き不透明感の後退から、幅広いセクターが買われました。一方、金利が上昇する局面では、ハイテク株やグロース株が売られたことや、週末にかけて新型コロナウイルスの変異種による感染拡大による経済活動の停滞懸念から景気敏感株を中心に売られたことから、週間では下落となりました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。バイデン米大統領がパウエルFRB議長の再任を発表し、米金融政策の早期正常化期待から米長期金利が上昇し、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが進みました。週末は、南アフリカで確認された新型コロナウイルスの新たな変異種による感染拡大懸念から、リスク回避目的の円買い米ドル売りが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、南アフリカで確認された新型コロナウイルスの変異種による感染拡大懸念から日米両市場ともに週末にかけて下落しました。バイデン米大統領は、2022年2月に任期満了となるパウエルFRB議長の再任を決定しました。パウエル氏の再任で利上げ開始時期が早まるとの思惑から米長期金利は1.7%に迫る水準まで急上昇したものの、足元ではやや落ち着いた様子を取り戻しています。今後は、市場との対話を重視するパウエル氏による、米金融政策のかじ取りに市場の注目が集まりそうです。南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異種が確認されたことを受け、米国などの主要国が南アフリカ共和国やボツワナなど、アフリカ南部諸国からの渡航制限を発表し、軌道に乗り始めていた経済活動の再停滞が懸念されています。今週は、米国の主要経済指標の公表が相次ぎます。市場予想を上回る堅調な結果が確認されれば、株式市場は上振れる可能性もありそうですが、欧州や南アフリカなどで広がる新型コロナウイルスの感染への警戒が、株価の上値を抑えることとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>